



図書館だより 12月号

2024年12月発行 江南市立西部中学校 図書館司書 木本規志子



木の葉が赤や黄色に色づき、各地の紅葉の便りがテレビから流れてきます。冷たい風におもわず首をすくめ、背中を丸めてしまいますね。12月7日～20日は「二十四節気：大雪」の期間にあたり、本格的な冬の到来。平地にもちらほらと雪が降る頃で、動物たちも冬ごもりを始める時期にあたります。私たちも、部屋をあたたくして、読書しながら、春への準備をしましょう。



また、12月は「師走」と言います。普段落ちついている僧侶でも年末の法要に忙しく走り回ることによって由来しているそうです。実際、12月は、世の中や家庭でも慌ただしく時間が流れていくように感じます。こんな時こそ、まわりの時間に引っ張られず、焦らず、自分のペースを大切にするためのおすすめ本を紹介します。

おすすめ本



『ゾウの時間ネズミの時間』
本川 達雄【著】／中公新書社

「時間は体重の1/4乗に比例する。」
体が小さい動物ほど、体重当たりの代謝量が多いため、脈拍が早い。体が大きいゾウは脈拍が遅い。ただ、どんな動物でも一生のうちに心臓が打つ回数は8億回前後だと言われているため、寿命と体の大きさはほぼ比例する傾向にある。文系でも分かりやすい本。



『未熟なまま輝く』
吉井奈々【著】／KADOKAWA

今は幸せの多様性の時代。幸せのカタチは十人十色で、カラフルに輝ける時代です。無理して変わらなくていいんです。誰かの期待に応えなくていいんです。あなたの人生を生きていいんです。(本文抜粋)「誰かのためでなく自分のための選択を」、「幸せを呼ぶ4つの口癖」など、心が楽になるヒントが満載!



『学校では教えてくれない
自分を休ませる方法』
井上 祐紀【著】／KADOKAWA

なぜかイライラする、コロナ禍で目標がなくなった、ゲームがやめられない…そんな休めていない人の特徴をおさえて、対処法が書かれています。本当の意味で自分を休ませるとはどのようなことなのか、精神科医が教える「正しく休む」ための本です。



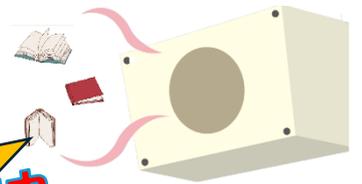
『博士の愛した数式』
小川 洋子【著】／新潮社

毎日記憶がリセットしてしまう老数学者と、そこに通うことになった家政婦の私と阪神タイガースファンの息子10歳。3人で過ごした奇跡のような1年とその後。最初のページから予感にあふれています。いつかすべてを忘れ去ったとしても、あのやさしい日々は確かにあったし、思い出せばいつでも温かな気持ちになれる。そんな出会いがこの本の中にはあります。

(出版社内容紹介より)



西部中学校読書月間 (11/20~12/13)



キャンペーン実施中

図書委員さんによる

西中library
book宝くじ

目的
・生徒の読書量を増やす
・図書館の本をたくさんの人に読んでもらう

期間 11.25(月)~12.13(金)

内容
・期間中に本を1冊返したら宝くじポイント1ポイント
・3ポイントで宝くじ1枚引ける。

11/25 (月) ~12/13 (金)
宝くじ配布
12/17 (火) 当選番号発表

book radio

目的
・沢山の人に興味をもってもらう
・未知なる本に出合うきっかけを作る

内容
・先生や生徒のおすすめ本を紹介し
・週に1~2回給食中に放送します

期間 11.25~12.20

11月27日(水)~
給食時放送開始



図書館からのお知らせ

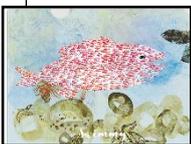
★冬休み特別貸出について

冬休みの貸し出しのために、今、本を借りている人は全員、12月16日(月)までに借りた本を一度返却してください。

◎ 冬休み特別貸出は、12月17日(火)~20日(金)

※一人3冊まで借りられます。

◎ 冬休み特別貸出の返却期限は、1月10日(金)です。



谷川俊太郎さん(1931~2024)

詩人の谷川俊太郎さんが、11月13日、老衰のため亡くなりました。小学校2年の「スイミー」、中学校1年の「朝のリレー」でみなさんも学習しましたね。谷川さんはこの他にも「スヌーピー」の登場する「ピーナッツ」や「マザー・グースのうた」の翻訳も手がけられました。活動は多彩で、♪そらをこえて~ラララほしのかなた♪で知られるアニメ「鉄腕アトム」の作詞も谷川さんです。図書館の入口にコーナーを設けました。

